

|| 登壇者 || 平塚 ゆかり (順天堂大学、職業能力開発総合大学校非常勤講師)

講題: 中国における通事の役割と規範意識 —「会同館」通事を中心に

余 玟欣 (神戸大学グローバルエンゲージメントセンター特命講師)

講題: シャーロック・ホームズ、登場

—中国清朝末期における翻訳探偵小説のはじまり—

藤森 猛 (愛知大学現代中国学部准教授)

講題: ハイジとペーター—アニメ作品の吹き替えと字幕の魅力—

|| 司 会 || 朱 藹琳 (愛知大学現代中国学部助教)

シンポジウム

中国語圏における文化の越境と翻訳・通訳:

時空を超えたコミュニケーションの諸相

2026年7月11日(土) 14時~16時30分

愛知大学名古屋キャンパス

講義棟L803 & ZOOM (ハイブリッド)

講演言語: 日本語 (手話通訳付・要申込)

翻訳・通訳は、言葉を単に置き換えるのみならず、何らかの文化を「越境」させる過程において重要な役割を果たしている。今回のシンポジウムでは、主に中国語圏を対象に、諸言語・諸文化が交わり、広がっていく過程に焦点を当てて議論する。3つの時代を代表する講演を通じて、翻訳・通訳によって形成された、時空を超えた文化的領域における独特の複雑さと興味深さに触れながら、翻訳・通訳と文化越境との関係性を捉え直す契機としたい。

こちらのQRコードからお申し込みいただけます!

